

ユニット名	島大すみれ食堂
代表者	佐藤一喜
所属人数	16名
達成に資するSDGs目標	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを 17. パートナーシップで目標を達成しよう
活動概要	1. 既存の子ども食堂における運営支援(通年) ～地域に根差した子ども食堂の活動に参画し、食事提供のサポートを通じてよりよい社会を作ります。 ・キッズキッチン城北(城北公民館)：調理、配膳、イベントの運営支援(通年) ・城東すくすく食堂(城東公民館)：2025年8月の新規発足、立ち上げ及び運営支援 ・松江市内の各子ども食堂：要請に応じて、調理・運営支援に柔軟に対応(通年) 2. 大学生の強みを活かした独自の取り組み(通年) 食事の提供だけでなく、子どもたちとの交流を深め、多角的な支援を目指します。 ・イベントの企画・開催：季節の行事(クリスマス会など)や、子どもたちが楽しめるレクリエーションを企画・実施します。 ・リユース市の開催：不要になった子ども服やおもちゃなどを集め、必要な家庭へ届けるリユース市を開催し、資源の有効活用と家計支援に貢献します。 ・学習支援活動：食事の前後の時間を利用し、宿題や苦手科目の学習をサポートします。 3. 地域社会・学内における啓発・連携活動 ～子ども食堂の認知度向上と、支援の輪を広げるための活動を行います。 ・広報・啓発活動：SNS等を活用し、子ども食堂の意義や活動状況を積極的に発信(通年) ・島根大学凧風祭への参加：子ども向け企画を実施し、学内外の多くの人々に活動を知ってもらう機会とします(2025年10月)
主な連携先 (予定を含む)	・キッズキッチン城北 ・城東すくすく食堂 ・松江市社会福祉協議会
成果物の公表予定、 社会への波及効果	成果物の公表予定 ～本活動の成果は、以下の方法で定期的かつ積極的に公表し、社会的な理解と支援の輪を広げることを目指します。 ・SNSによるリアルタイムな情報発信(通年) Instagram等のSNSアカウントを活用し、日々の活動の様子、イベントの告知・報告、子どもたちの笑顔などをリアルタイムで発信します。写真や動画を多く用いることで、活動の魅力を直感的に伝えます。 ・活動報告会の実施(年度末) 地域の支援者や大学関係者を招き、学生が主体となって活動の成果を発表する報告会を実施します。子どもたちも交えた交流の時間を設け、活動への理解を深める機会とします。 社会及び本学への波及効果 ～本活動は、SDGsの理念に基づき、食事提供にとどまらない「+α」の価値を創出することで、地域社会と本学(島根大学)に対して以下の波及効果をもたらします。 【社会への波及効果】 1. 貧困をなくそう、2. 飢餓をゼロに、3. すべての人に健康と福祉を 栄養バランスの取れた温かい食事を安価または無料で提供することにより、子どもの健全な発育を栄養面から支えます。特に経済的に困難な状況にある家庭の食費負担を軽減し、地域における食のセーフティネットとしての役割を果たします。これにより、すべての子どもが心身ともに健康に成長できる基盤づくりに貢献します。 11. 住み続けられるまちづくりを、17. パートナーシップで目標を達成しよう 既存の子ども食堂の多くが食事提供を主とする中、私たちは「食事+α」の取り組みに注力します。大学生による学習支援は教育格差の是正の一助となり、季節のイベントや遊びの企画は、子どもたちの豊かな情操を育みます。また、リユース市は地域内の資源循環と助け合いの文化を醸成します。 これらの活動は、子ども食堂を単なる食事の場から、子ども、学生、地域住民といった多世代が集う「地域交流拠点」へと進化させます。この交流を通じて地域のつながりを再生し、子どもの孤立や孤独を防ぐことで、誰もが安心して住み続けられるまちづくりに直接的に貢献します。さらに、私たちの活動モデルが他の子ども食堂へも波及し、地域全体の支援の質を向上させるパートナーシップの核となることを目指します。